

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (東海)	良くなる	一般小売店〔土産〕 (経営者)	・5月開催の伊勢志摩サミットに向けて、メディアでの当地域の露出も増えてきており、当面、景気は上向きの局面が続く。
		一般小売店〔自然食品〕(経営者)	・取扱商品が生活に密接している面もあり、落ち込みのない推移が見込まれる。
衣料品専門店〔紳士服洋品〕(売場担当)		・この先は母の日やゴールデンウィークというイベントも控えており、購入意欲が高まる。	
一般レストラン(従業員)		・リタイアした団塊の世代が、金をたくさん使ってくれる。	
	やや良くなる	商店街(代表者)	・気候も良くなり、来客数等が増えて売上の増加につながる。
一般小売店〔土産〕 (経営者)		・伊勢志摩サミットの開催時期は警備等で混乱するだろうが、その後は好転する。	
一般小売店〔贈答品〕 (経営者)		・伊勢志摩サミットのある5月に向けては、若干でもムードは良くなる方向である。今よりも経済に動きが出て、返礼品や贈答品の需要も増えればという期待を含む。	
一般小売店〔書店〕 (営業担当)		・例年、新年度用品の需要増加が見込まれる時期となる。	
百貨店(経理担当)		・1～2月にかけては身の回りの売上動向が非常に悪い状況で、新聞等の情報とかい離を感じたが、今後は回復すると考えている。	
百貨店(販売担当)		・徐々に購買意欲が回復しているところを見ると、売上に波がある点は変化ないかもしれないが、所得増加等の目にみえるプラス要因さえあれば、大幅ではなくても景気が上昇していくきっかけになる。	
百貨店(経営企画担当)		・この春は暖かくなるという予報があり、春物衣料の動きに期待ができそうである。	
スーパー(経営者)		・伊勢志摩サミットの効果でマスコミが当地をとりあげることが多く、来客数の増加に期待している。	
スーパー(総務担当)		・日本各地の生鮮食品フェアでは、集客が良くなっている。	
スーパー(販売担当)		・良い季節になり、購買意欲が高まる。	
スーパー(販売担当)		・競合店では店内配布チラシを始めているが、売上獲得の苦肉の策と感じる。楽観的な見方だが客足は競合店でなく当店に流れている。3月は決算月のため、チラシの強化等で予算達成を目指す。	
コンビニ(エリア担当)		・客の生活支援を意識した店舗づくりを進め、品ぞろえを変更していく。	
家電量販店(店員)		・客の買物予算が増えていると感じる。特に予算を決めず、自分にちょうど合う品物を選ぶ買い方も増えている。	
乗用車販売店(総務担当)		・人手不足となってきており、春になって賃上げが話題となれば、消費を取り巻くムードもやや改善する。	
住関連専門店(営業担当)		・消費税増税を前に、新築住宅や民間ビル等の設計、着工案件が多少多くなっている。大規模改修やリフォーム工事の件数は、前年よりも多く推移している。	
その他専門店〔書籍〕 (店員)		・祖父母と一緒に来店する客が増えて新入学用品の動きが良くなれば、客単価が上がると期待している。	
一般レストラン(経営者)		・年度末や春を迎え、人の動きが活発になる。	
旅行代理店(経営者)		・マイナス金利政策で企業の資金が福利厚生や設備投資等に回れば、景気を底上げする。市場が円滑に機能すれば、景気は良くなる。	
旅行代理店(経営者)		・消費税増税の影響もやや落ち着いてきたので、これから3か月後には、少しは消費も伸びると見込まれる。	
タクシー運転手		・今が悪すぎるため、現状よりはもう少し良くなる。	
タクシー運転手	・会社や学校等でも新年度を迎え、人が集まる機会が増え、タクシー客も増える。		
通信会社(営業担当)	・新サービスに対して客は様子見の感があるので、動き出せば少しは良くなる。		
通信会社(営業担当)	・大手通信事業者とのコラボレーションが寄与し、徐々に増加が見込まれる。		
テーマパーク(職員)	・春からは積雪状況に左右されない営業形態に戻るため、現在よりは良くなる。		
美容室(経営者)	・3～5月には行事もあって客が出かける機会が増えるため、忙しくなる。		
美顔美容室(経営者)	・行事等が多くなり、その前にケアをするために来客数が増える。		

	住宅販売会社（従業員）	・マイナス金利により、住宅ローン金利の一層の低下が期待できる。
変わらない	商店街（代表者）	・今のところ、良くなるような材料は見当たらない。
	商店街（代表者）	・客の様子を見ると販売単価の高い商品には目が向かない。来客数は減っていないので、潜在的な購買意欲はあるように感じる。
	商店街（代表者）	・周囲では給料が上がったという話は皆無で、ギリギリの生活をする人が多い。金の流れが一部で止まり、循環していないように感じる。これ以上悪くなると大変だが、少なくとも良くなることはならないと思われる。
	商店街（代表者）	・相変わらず、必要な商品以外は買わない状況が続く。季節商材があまり売れず、定番商品のみ売れる状況である。
	一般小売店〔薬局〕（経営者）	・地方は相変わらず不景気が続き、3か月で急に回復するとはとても思えない。食料は必需品なので、スーパーには客が入るが、その他の物は急いで買う必要がない。預金をして株式を買っても金は減るばかりで、金融市場の先行きも見通せない。
	一般小売店〔果物〕（店員）	・3か月ほどでは販売量の動きは変わらないと思われる。
	一般小売店〔和菓子〕（企画担当）	・株価、原油価格の動きや中国経済の動き等、本当に先行きが読みづらく、どうなるかわからないのが実情である。
	百貨店（売場主任）	・相変わらず客の財布のひもは固く、必要以上の物は買わない。
	百貨店（売場主任）	・若年層の客は、ネット購入する下見での来店が多い。出張のついでに買物をする客には、高額品を購入する人もいる。プレゼントを購入する女性客も増えており、平日でも来客数は多い。にぎわいは感じるが、良い時と悪い時の差があるので、景気が良いか悪いかはわからない。
	百貨店（企画担当）	・年明けから経済的に様々な不安要素があり、個人消費にマイナスの影響を与えている。富裕層が対象となる高額商品の動きは悪くないものの、百貨店の売上で高いシェアを占める中間層には、購買意欲の落ち込みを強く感じている。この傾向は、まだ数か月は続く。
	百貨店（販売担当）	・セール時の動きは悪くなかったが、平日の売上は前年同期を下回っている。お買得にならないと消費にも勢いが出ない状況が続いている。
	百貨店（販売担当）	・暖冬の反動で春先の気温が低くなるとの予報もあり、当面は衣料品の苦戦が続く。景気を刺激する要因に乏しく、消費税増税前の駆け込み需要が始まる秋口までは、現在と変わらない状況が続く。
	スーパー（経営者）	・5月ごろには新興国の経済成長も鈍化し、我が国からの輸出も冷え込みが続く。中国経済は相変わらず減速が続き、世界経済が伸び悩むため、各国とも為替操作で輸出を伸ばそうとしているが、なかなか伸びない。そのため賃上げもあまり実施されず、経済はあまり良くない状況が続く。
	スーパー（店長）	・来客数は大きく変わらない状況で推移しており、この先も安定的に売れると見込まれる。
	スーパー（店長）	・好転する要素は、ほとんど見受けられない。今後大きな動きがあるとしても、今より良くなることはない。
	スーパー（店員）	・ガソリン価格低下のためか、遠方からの客が増えているように感じる。野菜や果物の価格は安定しているので、先行きも不安要素は見当たらない。
	スーパー（店員）	・客単価は低く、客の流れも限られている。景気は上向きとはなっていない。
	スーパー（販売促進担当）	・売上は、過去のマイナス分をまだ取り戻せない。
	スーパー（人事担当）	・春に賃上げがあっても、景気にすぐには反映されない。
	スーパー（営業企画）	・消費税の税率見直しも不透明で、金利引下げ政策の影響も読みにくいなかで、消費についてもしばらくは小康状態が続くと見込まれる。
スーパー（商品開発担当）	・来客数が回復する要因が見当たらず苦戦が続いているため、回復要因を見付けるまでは、厳しい状況が続くと考える。	
スーパー（企画・経営担当）	・景気の変化するような要素は見当たらない。	
コンビニ（企画担当）	・TPP、リニア中央新幹線もあり、東京オリンピックの開催までは、穏やかな景気の回復が続く。ただし、テロ等が起きて日本への人の流れが止まると、話は違ってくる。	
コンビニ（店長）	・特に状況が変わる材料はないが、金利が下がり、貯蓄から消費へと消費者の意識が変わることを期待したい。	

コンビニ（企画担当）	・様々な指標をみても、先行きが良くなる傾向も悪くなる傾向もみられない。
コンビニ（エリア担当）	・大きなプラス要因は見受けられない。
コンビニ（エリア担当）	・当面は今月の状況が変わらずに続くと思われる。
コンビニ（店長）	・消費税増税等を控えて、消費に対する客の動きや考え方に大きな変化はない。週末の動きは3か月前と比べて、多少良くなってきているが、全体としては変わらない。
衣料品専門店（経営者）	・得意先がなくなり、なじみ客も高齢となっている。新規客の来店は、夢のまた夢になりつつあり、現状と変わらない。
衣料品専門店（販売企業）	・商品の動きが特に変わりそうな要素はない。
家電量販店（店員）	・状況が一変するような要因があれば別だが、現状からみれば、上向きとはいえない状況が続いていく。
乗用車販売店（営業担当）	・2～3月の反動で4月の販売台数は落ちるが、ガソリン価格はかなり安くなっているため、販売面ではプラスとなる。
乗用車販売店（経営者）	・良くなる要素も悪くなる要素も、特段、見受けられない。
乗用車販売店（経営者）	・車検専門店が増え、車検・点検での競合も激しくなっている。
乗用車販売店（従業員）	・来客数、販売量共に横ばいで、全く先が読めない。身の回りを含めて、今後の景気は良くなるも悪くなるもいえない難しい状況である。
乗用車販売店（従業員）	・相変わらず客の希望する車種には大幅な納車待ちが発生し、短縮の目途は立っていない。4月以後に新型車種の投入が予定されており、客の購買意欲にどう影響するかが気になる。決算期だからという駆け込み需要もなく、購入を勧められれば検討するというほど、財布のひもは緩んでいない。
乗用車販売店（経理担当）	・購買意欲を刺激するよう商品が出てこない。
乗用車販売店（販売担当）	・メーカーが販売施策を積極的に行っているため、引き続き前年比での販売台数は増加が続く。
その他専門店〔雑貨〕（店員）	・収入が増加するという具体的な目途もなく、必要に迫られて購入しなければならない物もなく、5月ごろは特別の季節感もないため、現状の販売量と変化はない。
その他専門店〔貴金属〕（営業担当）	・株価が下がっているため、客の財布のひもは固くなる。金の価格が上昇しているため、金製品を買い求める客が増える可能性はある。
高級レストラン（役員）	・景気回復に関連するような明るいニュースがない。
一般レストラン〔パン・カフェ〕（経営者）	・仕入れ業者の声では、業界全体として少しも良い話を聞かない。周辺には自動車関連の事業者が多いため、車がたくさん売れば良くなるが、上向きとなるのはやや厳しい見込みである。
観光型ホテル（販売担当）	・年度末から新年度にかけての予約状況は、グループや大型団体の一般宴会、宿泊宴会共に、前年同時期比で2けたの落ち込みを示しているため、先行きも良くなるとはいえない。
都市型ホテル（従業員）	・予約数から横ばいを見込む。
都市型ホテル（支配人）	・依然として、インバウンドに依存する状況が続く。
都市型ホテル（経理担当）	・宿泊客数は 前年同期並みと見込まれる。
旅行代理店（経営者）	・少子高齢化は徐々に進展しており、東京以外では人口減少が消費に大きく影響する。企業数は人口規模に合わせて減っていく。外国人客に対応できるよう新たな市場を開拓しない限り、経済が縮小していくのは明らかである。
旅行代理店（経営者）	・景気や世界情勢に左右されて先の見通しが立てづらいため、安全な国内旅行を選ぶ様子がみられる。安心できる鉄道の旅も人気で、北海道新幹線開通は目玉の一つである。新幹線で北から南へ旅する商品も期待できる。
旅行代理店（従業員）	・若い層の客足があまり良くない。給料やバイト代の状況にも関係すると思われるが、あまり景気が良くなるとは思えない。
旅行代理店（従業員）	・今年のゴールデンウィークは大型連休を取りやすい日並びで、燃油サーチャージも低下傾向にあり、海外旅行需要に期待したいが、今のところ申込数の目立った増加はみられない。気候や株価の影響なのかわからないが、来客数は伸び悩んでいる。気候とともに客足が伸びることを期待する。

タクシー運転手	・今の状況より更に悪くなったら、転職も考えざるを得ない水準である。伊勢志摩サミットの応援に召集されると、その間に地元の客を失う可能性がある。
通信会社（サービス担当）	・引っ越しシーズンで転居に伴う光回線の新規申込の増加が見込まれるが、スマートフォンの普及により、固定電話の解約も増加すると思われる。
ゴルフ場（企画担当）	・日々の入場者予約数の動きは、前年同日を下回っているが、これから暖かくなるにつれて予約数は増えてくる。4～5月は良いシーズンとなるので、入場者数はほぼ順調に確保できる見込みである。
その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・新設した訪問介護事業の利用者数を増やすには、安定したサービス提供が求められるため、生活支援員の教育を充実させる時間が必要となる。
その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・福祉用具に対する保険給付を抑制的に見直す動きがある。プラスとなるような話題は聞こえてこない。
設計事務所（経営者）	・相変わらず小規模で手間のかかる案件が多いため効率が悪く、収入面でも圧迫している。大きな案件がないので、リスクのある面倒な仕事でも断れない。
住宅販売会社（従業員）	・先行きも大きな変化はないと思われる。
住宅販売会社（従業員）	・低水準の金利で住宅ローンが組みやすい状況かもしれないが、今の若年層が長期の借入をしても大丈夫なのか、懸念される。
その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（経営者）	・この先には、消費税再増税前の駆け込み需要の増加を望みたい。
その他住宅〔室内装飾業〕（経営者）	・見積りや問い合わせの件数は多く、年度末に向けては現状と同様の受注状況が続くそうである。
やや悪くなる	
商店街（代表者）	・売上をけん引する商品があまりない。4kテレビに期待するが、コンテンツが整っていないので、客に強く推奨できない。
百貨店（経理担当）	・株価はしばらく低迷すると見込まれ、春闘での賃上げも期待できず、個人消費が持ち直すような要素が見当たらない。
百貨店（販売促進担当）	・世界の経済情勢が悪化しているため、しばらくはその影響が続く。
百貨店（販売担当）	・大半の中小企業にとって、株価、為替相場、金利等の要件は厳しい状況である。消費税の軽減税率導入に伴う企業負担増加への懸念が心理的にはマイナスとなっており、不況脱却への政府の指針が明確ではない状況では、購買意欲がますます低下していく。
スーパー（経営者）	・中小小売店では、足元での全く売れない状況が先行きも続くのではないかと心配している。
コンビニ（エリア担当）	・主力商品のたばこの値上げを控えており、それ以外の弁当やドリンク等に使う金が減ってくる。工場の近くの店では、工場の稼働状況が良くないためか、売上の厳しい状況が続いている。
コンビニ（店長）	・同業者だけでなく異業種店との競合が激しくなり、厳しい状況は変わらない。
コンビニ（商品開発担当）	・景気の後退感はずいぶん、来客数と購入点数は落ち込む。この環境は当面は変わらない。
乗用車販売店（経営者）	・決算月の3月までは動きはあるが、それ以降は動きがかなり悪くなる見込みである。
乗用車販売店（従業員）	・足元の円高、株安傾向を踏まえると、先行きにはプラスよりもマイナスの影響が大きい。
乗用車販売店（従業員）	・ほとんどの車種が4月以降の納車となるため、決算期に入っても販売実績は低調で、売行きが鈍ってきている。明るい材料がない。
乗用車販売店（従業員）	・2月末の時点で3月末までに納車できない車種が多数あり、決算に間に合わないため、客の購入意欲も減退してきている。
乗用車販売店（従業員）	・1～3月が良い分、その先は悪くなる。足元が例年以上に良い反動で、今後は悪化することを心配する。
その他専門店〔雑貨〕（店員）	・中国経済の減速とともに、円高、株安が消費マインドの減退に影響する。
一般レストラン（経営者）	・先行きに良くなる要素がない。
一般レストラン（スタッフ）	・例年よりも雪の影響はなかったが、客足はそれほど良くない。したがって、先行きはまだまだ厳しい状況が続くと見込んでいる。
その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・政治、経済共に確実に明るい材料が見当たらないため、当面、悪くなっていく。

	その他飲食 [ワイン輸入] (経営企画担当)	・ここにきて物価上昇と消費税増税の負担感が強まっている。
	観光型ホテル (経営者)	・2～3か月先の予約は、前年同期比で10%くらいペースが遅く、閉塞感を感じる。明るいニュースや需要が伸びるような政策に期待をしている。
	都市型ホテル (経営者)	・個人客の購買意欲の低下が気になる。
	旅行代理店 (経営者)	・客足が良くなる要因が見当たらず、このまま悪化の状況で推移するのではないかとと思われる。
	通信会社 (企画担当)	・ガソリン価格の下落は良いが、製造業の多い当地域では、マイナス金利等でデフレ傾向が更に進むのではないかと、先行きへの不安が高まっている。
	テーマパーク (職員)	・円高でインバウンドの来客数も減少傾向にある。
	観光名所 (案内係)	・段々と高齢者が外に出て金を使う機会が減っている。春闘も期待できそうにない。若者もこれから徐々に減っていく。
	パチンコ店 (経営者)	・業界全体で、低単価による薄利多売の傾向となっている。
	理美容室 (経営者)	・客の話では、あまり景気も良くならないので、なるべく金を使わないようにしている。
	美容室 (経営者)	・街からは大学を卒業した女性がどんどん転出している。若い女性相手の業界なので、客層の流出は仕事に影響する。この先は、消費税増税の影響も出てくる。
	設計事務所 (職員)	・今の政策や金利の話題からは、これから景気が良くなるような要因は見当たらない。
	設計事務所 (職員)	・景気が上向きには2～3か月という期間は短い。今年は参議院選挙もあり、政治が安定して経済も安定する。世界的にみても政治不安が大きな要因となっている。
	その他住宅 [住宅管理] (経営者)	・客は品質よりも価格に関心が強く、低価格の材料での受注が増加している。景気の上向きの変化は、まだ感じられない。
	悪くなる	
	一般小売店 [酒類] (経営者)	・既存店では、求人募集をしても人材が集まらずに閉店するところが出ている。ターミナル駅周辺に大きなビル群ができ、人の流れがシフトしており、別の地域では客の流れが止まっている。
	理容室 (経営者)	・これからも、景気が良くなるとは思えない。
	住宅販売会社 (経営者)	・先行き不安で、住宅購入にまで金がまわらない人が多い。今後どうなるかが不安という声が聞こえ、私自身もそう感じている。
企業動向関連 (東海)	良くなる	-
	やや良くなる	
	食料品製造業 (経営企画担当)	・伊勢志摩サミット開催まで90日を切り、様々な場面で盛り上がりを見せている。4～5月にかけては、地域経済活性の期待が更に高まる。
	一般機械器具製造業 (営業担当)	・今年はスマートフォンの新製品発売が予定されており、新製品向けの設備投資が期待できる。
	電気機械器具製造業 (経営者)	・取引先では、新年度の予算で業務用チェアへの設備投資が決まり、当社製品の販売増加が期待できる。
	輸送用機械器具製造業 (品質管理担当)	・今後も人員が増える計画があり、このまましばらくは増加が続く。
	金融業 (従業員)	・客先では、足元の景気はあまり良くないが、しばらくすれば景気は回復してくるという声を聞く。
	行政書士	・年度が替わり、荷物の動きが出てくる。
	その他非製造業 [ソフト開発] (経営者)	・我が国全体の経済は、悪い状況ではないと感じる。為替相場の方向が先行きどうなるかを注視している。
	変わらない	
	パルプ・紙・紙加工品製造業 (総務担当)	・景気が良くなると感じられる情報はなく、現状のままでしばらくは推移する。
	化学工業 (総務秘書)	・株価や為替相場の動きをみていると、多少の上下動はあっても一定の幅で収束に向かっていくように感じる。世界的には日本経済は安定しており、不安や希望で上下を繰り返しつつ、安定を維持するのではないかと見込まれる。
	窯業・土石製品製造業 (社員)	・多く製品がほぼ手作りであるため、現在でもフル操業でこれ以上の増産は難しい。
	一般機械器具製造業 (経理担当)	・受注量、販売量共に、横ばいが見込まれる。
	電気機械器具製造業 (企画担当)	・売上は一進一退の動きで方向性がみえない。この先も急減する可能性は低く、大きく伸びる理由も見当たらないため、しばらくは現状維持が続く。
	電気機械器具製造業 (経営者)	・為替相場が非常に不安定で、輸出货量も安定的に確保できない状況が続いている。国内消費が非常に少なく海外向けが主となっており、円安時の受注残がどのように影響するのかを含めて、今後の見通しが非常に難しい。

電気機械器具製造業 (総務担当)	・自動車関連の製造業は好調のようだが、当社のように海外部品の調達による国内生産、あるいは海外子会社で生産して国内販売を行う企業では、円安の影響や国内需要の頭打ち等、先行きに明るくなる材料が見出せない。	
輸送用機械器具製造業 (経理担当)	・来年度の初めには、大きな変動要因は見当たらない。販売量、利益共に今月並みでの推移が見込まれる。	
輸送用機械器具製造業 (デザイン担当)	・国内売上は思った以上に良い反面、海外売上が減少している。開発環境としては、コストの引下げを強く迫られる状況ではない。総合的にみて、良くなる感じもなく変化はないと思われる。	
建設業(営業担当)	・現状はあまり例年と変わらないが、会社としては、今までの方針とは異なる分野にも、目を向けていくことを考え始めている。	
輸送業(経営者)	・景気の不透明感は高まっているが、実需への影響はみられないため、横ばいと見込まれる。	
輸送業(従業員)	・荷動きは低調であるが、原油価格が安定し燃料費を抑えているため、何とかバランスがとれている。燃料価格下落の動きが止まってからが問題である。	
輸送業(エリア担当)	・荷物量は増加しているが、平均単価の下落により収支の悪化が続く。	
輸送業(エリア担当)	・燃料の軽油単価が、前年比で12円26銭下がっており非常に助かるが、貨物の荷動きは今一つ緩慢である。	
通信会社(法人営業担当)	・新年度の需要を期待したが、2月になっても動きが少ないため、年度が替わっても新たに何かを提案できる機会は少ないと思われる。	
通信会社(法人営業担当)	・不透明な国内外の経済情勢に加えて、日銀のマイナス金利の影響もわからない。企業優遇税制は、裾野まで広がっていない状況からも、先行きは見通しづらい。	
金融業(法人営業担当)	・足元の利益は改善が見込まれるが、株安・円高に加え、世界経済の先行きへの不安から、取引先企業のマインドは低下しており、設備投資にも慎重な姿勢が見受けられる。	
金融業(企画担当)	・運用資産を保有する持つ個人は、資産効果が表れないと動きづらい。運用資産を持っていない層では、賃上げがないと消費は拡大しない。したがって当面は現状のままの景気が続くと思われる。	
不動産業(経営者)	・マイナス金利の効果がどうなるのか、しばらくは様子見となる。	
不動産業(用地仕入)	・中国経済の減速や株安等の不安材料はあるが、2~3か月程度では、景気に大きな変化はないと思われる。	
企業広告制作業(経営者)	・現状から横ばいであるが、中国経済の低迷等、マイナス材料の懸念もある。	
広告代理店(制作担当)	・具体的にこれといった新しい動きはなく、受注量にも変化がみられない。	
会計事務所(職員)	・消費税再増税までにはまだ時間があり、目立った動きは表れない。消費の面では、食品等の商品では、容量を減らして価格を据え置く等の対応がとられ、実質的に価格上昇となる。	
会計事務所(社会保険労務士)	・マイナス金利の影響がどのように出るかが不透明である。生命保険会社からは、3月末で貯蓄性の高い商品は販売をいったん停止するという案内がきている。	
その他サービス業[ソフト開発](社員)	・3月で契約終了となるシステムエンジニアを確保できるかによるが、当地域ではそもそも上級技術者が育っていないため、若手や経験の浅い技術者しか確保できない。	
やや悪くなる	化学工業(営業)	・客からの値下げ要請が強く、今後の販売単価は低下が見込まれる。
化学工業(人事担当)	・原油価格の動向、中国経済の減速や円高等、外部要因には企業業績や株価への悪材料が多い。景気はしばらく低迷すると思われる。	
鉄鋼業(経営者)	・鋼材流通は、少ない発注量に対する業者間競争が激化し、単価がじりじりと下がっている。	
金属製品製造業(従業員)	・足元でも原材料の動きが鈍くなっており、春先から仕事が少なくなると感じる業者が周りには多い。	
電気機械器具製造業(営業担当)	・為替相場の動きから、先行きは悪影響が懸念される。	
輸送用機械器具製造業(研修担当)	・円高が進んでおり、マイナス金利が大きな効果を生むとは思えない。米国大統領選で為替介入が批判される等、我が国の景気は、次期大統領次第で大きく左右される。	
輸送用機械器具製造業(総務経理担当)	・円高が進んでいるので、輸出向け部品の売上が減少していく。	

	建設業（経営者）	・マイナス金利が消費者マインドにも暗い影を落とし、容易には払しょくできない。この影響はしばらく続くと思われる。
	建設業（経営者）	・現状を考えると、政治や政治家にも問題がある。アベノミクスは実効性が乏しく、良くなる材料が全く見当たらない。
	輸送業（エリア担当）	・中国経済の減速を背景に、中国向けの輸出が減る可能性がある。
	新聞販売店〔広告〕（店主）	・企業での経費削減や見直しの動きが、今後も一層強くなると思われる。
	公認会計士	・最近はやや円高ではあるが、円安による原材料費の高騰が中小企業の収益性を低下させている。マイナス金利政策による運用利回りの低下が、地域金融機関の収益を圧迫し、メインバンクとして中小企業の資産査定が厳格化し、資金供給が円滑に進まなくなる恐れがある。
	悪くなる	
	食料品製造業（営業担当）	・輸出型の企業では円安の影響で製品の販売が困難となっている。国内販売への転換も、市場にはあまり余地がないとのことである。
	出版・印刷・同関連産業（代表）	・消費者の懐具合が良くなれない限り、景気はどんどん悪くなる。消費税増税の話題が出るたびに、広告出稿量は目にみえて減っていくように感じる。
	金属製品製造業（経営者）	・年度末を控えて、引き合い件数が減少している。
雇用 関連	良くなる やや良くなる	-
(東海)	人材派遣会社（社員）	・歓送迎会の時期なので業況は良くなる。例年よりも予約状況は少し良い。
	人材派遣会社（支店長）	・求人数が引き続き堅調なことに加えて、契約更新が集中する年度末となることから、先行きも拡大傾向は続くものと考えられる。
	職業安定所（職員）	・前年同月比でみると、新規求職者並びに有効求職者数は、10か月連続で減少している。新規求人数は8か月連続、有効求人数も6か月連続で増加するなかで、充足数は2か月連続して減少しており、景気回復と共に注視が必要となってくる。
	民間職業紹介機関（営業担当）	・新年度の各種補助金の効果も期待でき、若干の景気上昇を見込む。
	学校〔専門学校〕（就職担当）	・大学生の就職活動は来月の解禁を待たず、実質的な会社説明会は開催されており、企業の採用意欲が前年以上に高いことがうかがえる。
	変わらない	
	人材派遣会社（社員）	・正社員採用の求人は引き続き好調である。求人案件はあるものの、要件にマッチする人材の不足が採用決定の伸びを抑える不安がある。
	人材派遣会社（営業担当）	・製造業の人員状況からみると、まだまだ人手不足の状態であり、各社で取り組める余地は多いが、中国経済への不安や円高等もあり、景気が上向きになるという感覚はない。
	人材派遣会社（営業担当）	・直近ではプラスと感じる要素が見当たらない。
	アウトソーシング企業（エリア担当）	・国内の新車販売台数が伸び悩み、為替の影響や世界情勢への不安から海外輸出も増えず、先行きは横ばいと見込まれる。
	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・消費税増税前の駆け込み需要以外に、良くなる要因が見当たらない。
	職業安定所（所長）	・業種間で雇用や景気の動向には差があるが、管内の状況としては、充足数が前年同月比15.6%増加しており、人手不足は変わらず、企業の採用意欲は高い。
	職業安定所（職員）	・中国経済の減速、原油安や為替相場の急激な変動等、先の見通せない要素が存在しているため、企業も今後の採用については慎重になっている。
	職業安定所（職員）	・求人数は前年同期比で減少しているが、前月比では増加している。求職者数も前年同期比で減少しているため、景気の動向ははっきりしない。
	職業安定所（職員）	・急速に円高が進んでおり、輸出関連企業には打撃を与える。管内には輸出関連企業が少ないため、地域への影響は少ないと思われる。
	職業安定所（職員）	・大手企業を中心に業績は好調で、引き続き販売業を中心にパートを主体とした求人も多い。中国経済の減速に伴う影響は今のところ出ていないが、今後は出る可能性もある。求人は増加傾向にあるものの、相変わらずパートでの募集が目立つ点は、マイナス要因である。
	民間職業紹介機関（営業担当）	・新卒採用の説明会等で企業の人事担当者が業務繁忙となり、中途人材の採用活動は、いったんスローダウンする可能性がある。

	その他雇用 [広告代理店] (求人広告担当)	・以前は期待感を持ち、景気は良くなり、いろいろな変化も良くなる兆しであると考えていたが、最近そのようには思えなくなってきている。
やや悪くなる	人材派遣会社 (営業担当)	・採用活動は一段落し、落ち着く時期と思われる。求職者も、求人市場をみながらの就職活動になるため、人材の動きは現在と比べるとやや鈍くなる。
	職業安定所 (職員)	・求人数は増加しているが、充足されない可能性が高まっている。特に、応募者が1人もいない求人案件が、幅広い産業で多数出てくることが懸念される。
	民間職業紹介機関 (支社長)	・円高が進むと、自動車業界では各社の業績に影響が出てくる。株価の動きよりも、為替相場が気掛かりである。
悪くなる	新聞社 [求人広告] (営業担当)	・マイナス金利の影響は、ローン金利の見直し等良い面もあるが、貯蓄への不安感が先立ち、消費は停滞する。各業種でプラスの面があることのアピールが必要と思われる。